

BVT1

Sports Regulation 2026



公益財団法人日本バレーボール協会
一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟

目次

1 はじめに

ジャパンビーチバレーボールツアーについて

2 実行委員会 P 6

(1) 実行委員会、事務局の設置

- 1) ジャパンビーチバレーボールツアー実行委員会 (全体統括)
- 2) BVT1 実行委員会
- 3) 各大会実行委員会 (大会統括)

3 エントリー P 6

(1) エントリーについて

- 1) エントリー資格
- 2) エントリー期限
- 3) レイトエントリー
- 4) ダブルエントリー
- 5) チームスタッフの資格と制限について
- 6) チームスタッフ申請
- 7) ヘッドコーチの取り扱い
- 8) チーム広報
- 9) 参加費

(2) 参加チームの決定

- 1) エントリーポイント
- 2) エントリーポイントが同じ場合
- 3) 対象になるエントリーポイントが4大会に満たない場合
- 4) 補欠/レイトエントリーチーム
- 5) 不可抗力

4 シーディング P 10

(1) シーディング

- 1) シーディング日程
- 2) シーディングポイントについて
- 3) シーディングポイントが同じ場合

5 選手変更 P 11

(1) 選手変更

- 1) 条件
- 2) 手続き
- 3) エントリーチームの選手変更によるシーディング
- 4) 本戦・予選・補欠チームの取り扱い

6 キャンセル P 12

(1) キャンセル

- 1) 手続き
- 2) 補欠チームのキャンセル
- 3) 国際大会のダブルエントリーによるキャンセル
- 4) 参加チームのキャンセル等による繰り上げ

7 ワイルドカード P 13

(1) ワイルドカード

- 1) WC の対象
- 2) WC の推薦権
- 3) WC の決定権
- 4) WC の期限
- 5) 外国人チームの出場
- 6) シード
- 7) WC の選手変更
- 8) 選考基準

8 プレリナリイックワイアリ・テクニカルミーティング P14

(1) プレリナリイックワイアリ・テクニカルミーティング

- 1) PI
- 2) TechMtg
- 3) 締め切り運用

9 予選 P 14

(1) 予選概要

- 1) 参加チーム
- 2) シード
- 3) 予選終了後の抽選方法
- 4) 競技運営上の補足

10 全体競技形式 P 15

- (1) 予選
 - 1) シングルエリミネーショントーナメント
 - 2) プール戦
- (2) 本戦
 - 1) シングルエリミネーショントーナメント
- (3) 試合順

11 競技全般 P 17

- (1) 競技細則
 - 1) 男女共催
 - 2) 試合形式
 - 3) Crown of the beach 方式
 - 4) 試合の中断
 - 5) 大会の延期／中止
 - 6) 競技形式の変更
 - 7) コーチング
 - 8) 大会の棄権
 - 9) ポイント
 - 10) 試合球
- (2) 競技の棄権
 - 1) レフェリーストップ
 - 2) 判断の基準
- (3) ユニフォーム
 - 1) ユニフォームチェック
 - 2) スポンサー
 - 3) 大会主催者によるトップスの支給
- (4) 試合中の負傷に関する対応
 - 1) メディカルアシスタンスプロトコル
 - 2) 負傷／病気の選手が医療支援を受ける場合
- (5) ボールマークプロトコル

12 競技方法 P 20

- (1) 各種フォーマット

13 コンプライアンス規程 P 29

- (1) 事象の一例

(2) BVT1 におけるペナルティの内容

14 その他大会に関わる重要事項 P 29

- (1) 公式行事
 - 1) 行事内容
 - 2) 配信内解説
- (2) 表彰式
 - 1) 賞金
 - 2) 優勝トロフィー／賞金ボード
 - 3) 副賞
 - 4) 服装
- (3) ビデオ／配信
 - 1) チームビデオ
 - 2) 配信
 - 3) 写真・動画について
- (4) 入れ墨／タトゥー
- (5) その他
 - 1) 併催大会
 - 2) 国際大会との調整
 - 3) 敗退後の取り扱い

15 感染症対策 P 31

- (1) 基本方針
 - 1) 2026 年度対応
 - 2) 検査について
 - 3) 陽性者への対応
 - 4) 大会期間中に陽性者が確認された場合
 - 5) 試合期間の行動

附則

1 はじめに

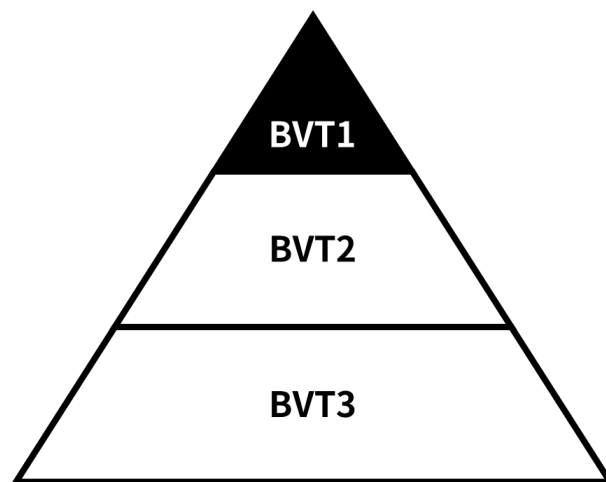
ジャパンビーチバレーボールツアーについて

日本でのビーチバレーボール競技確立の一環として、また世界で活躍するビーチバレーボール選手の輩出を目標に2014年に設立されたビーチバレーボール国内最高峰の競技大会（創設当初の名称「JVAビーチバレーボールシリーズA」）を前身に、2016年より「ジャパンビーチバレーボールツアー」に名称を変更し開催している。

ジャパンビーチバレーボールツアー（以下、「ジャパンツアー実行委員会」）は公益財団法人日本バレーボール協会（以下「JVA」という。）と、一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟（以下「JBV」という。）が主催するBVT1（トップカテゴリー）、BVT2（サテライト）、BVT3（アンダーエイジ）の国内大会を指す。

※2026年度からJBVシリーズもBVT1のカテゴリーとする

本規程はBVT1についての規程とし、JVAが発行する2026年度版ビーチバレーボール競技規則とともに運用する。



◆BVT1

「トップカテゴリー」の位置付けとなる。海岸だけではなく都市部（駅前、街中）や観光地などに特設コートを設置し開催される。オリンピックを目指す選手やプロツアー等の国際大会に参加する選手が出場し強化と興行面を主とした大会でトップレベルの試合が展開される。

◆BVT2（主にJBVを主として運営する）

「サテライト」の位置付けとなる。将来プロを目指す選手や社会人選手、大学生を中心として全国各地で開催される。国民スポーツ大会開催に向けてリハーサル大会などの役割を担うこともある。

◆BVT3（主にJBVを主として運営する）

「アンダーエイジ」の位置付けとなる。20歳以下、18歳以下などのカテゴリーが設置され全国各地で開催される。若年層の強化と育成、有望選手の発掘を目的とする。

2 実行委員会

(1) 実行委員会、事務局の設置

ジャパンツアー実行委員会とBVT1実行委員会、開催地毎に大会実行委員会を設置する。窓口はBVT1事務局とする。

1) ジャパンビーチバレーボールツアー実行委員会（全体統括）

ジャパンツアー全体の統括として年間を通じて設置し、ジャパンツアーに関する方針、規定等を決定する。委員は各団体、競技、審判、選手などによって構成される。

- ◆実行委員長 JVAウェブサイトに掲載
- ◆委員会メンバー JVAウェブサイトに掲載

2) BVT1実行委員会

競技からイベントを含む大会全体の円滑な運営を図る。観客ならびに選手、チームスタッフ、大会役員等の運営関係者および審判員等の安全を確保する。

- ◆実行委員長 公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボールGr.シニアダイレクター
- ◆競技委員長 公益財団法人日本バレーボール協会競技委員会委員長
- ◆競技副委員長 一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟競技委員会委員長
- ◆審判委員長 公益財団法人日本バレーボール協会審判規則委員会委員長
- ◆審判副委員長 一般社団法人日本ビーチバレーボール連盟審判委員会委員長
- ◆その他委員
- ◆BVT1事務局 公益財団法人日本バレーボール協会ビーチバレーボールGr.

3) 各大会実行委員会（大会統括）

開催地毎に設置する。

- ◆大会実行委員長・開催責任者（各都道府県バレーボール協会理事長または専務理事など）
- ◆大会競技委員長（JVA競技委員会派遣）
- ◆大会副競技委員長（地元都道府県協会・都道府県連盟）
- ◆大会審判委員長（JVA審判規則委員会派遣）
- ◆大会副審判委員長（地元都道府県協会・都道府県連盟）
- ◆総務委員長（地元都道府県協会・都道府県連盟）
- ◆開催地代表委員

3 エントリー

(1) エントリーについて

BVT1に参加を希望する全てのチーム（選手）は必ず所定のエントリー手続きを済ませなければならない。

1) エントリー資格

- ◆登録について

2026年度 JVA MRS「登録規程」により、JBVに「ビーチバレーボール選手 S」として MRS 登録

している者。

ただし、JBV が主管する大会を予選大会とした場合、A 登録でのエントリーも認めることがある。

◆外国人選手について

外国人選手は JBV 選手登録を行うか、その資格を有さない場合は所属する国のバレーボール協会からの参加申請に基づき、JVA 並びにジャパンツアー実行委員会（BVT1 事務局）の承認を経て参加を認める。

なお、シーズン中 2 回以上参加を希望する外国人選手は S 登録を必須として、JVA ビーチバレーボール・オフィシャルポイント（以下、「オフィシャルポイント」）を取得することができる。

また JBV シリーズに参加する際にも同様とする。

外国人選手に関しては入国制限、ビザ申請等の観点からエントリー期間外での対応をすることがある。

MRS からの登録ができない場合、メールでの出場申請を受け付ける。

◆招待選手について

招待選手は S 登録の手続きを免除する。

◆その他

通常のエントリー資格以外に条件を設ける場合には、大会毎の開催要項または JVA ウェブサイト等にて詳細を記載、公開する。

2) エントリー期限

原則として大会開催日の 33 日前をエントリー期限としオフィシャルポイントに基づき確定する。

（該当日が土日・祝日だった場合、後ろ倒しする。大会開催日から見て 4 週間最初の平日）

時間は日本時間 23:59 までを期限とする。MRS システムへのログインがエントリー期間内であっても、エントリー登録完了が期限日を過ぎた場合は無効となりレイトエントリーとなる。

派遣手続きなど、通常時のエントリーと異なる場合には大会毎の開催要項または JVA ウェブサイト等にて詳細を記載、公開する。

3) レイトエントリー

大会毎のエントリー期限を過ぎた後も大会へのエントリーは認めるが、そのチームはレイトエントリーチームとして取り扱う。システムにログインできないため、BVT1 事務局に直接メールでの申請を行う。期日は各大会のシーディング日までとする。

4) ダブルエントリー

BVT1 が開催される期間に VW、FIVB、AVC 主催大会、その他各国において開催される NT 等へのエントリーについては制限しない。

キャンセルが発生する場合は「6 キャンセル」内に記載の通り手続きをするものとする。

5) チームスタッフの資格と制限について

2026 年度は資格の制限を設けない。

ただし、2027 年度大会は下記の様に変更する。

◆ヘッドコーチ（監督）1 名

JVA MRS 「登録規程」においてビーチバレーボール S クラスの監督登録をしている者。

マッチコートでのウォームアップ、公式練習、ベンチ入りを認める。

◆その他スタッフ（コーチ、トレーナー等）人数は大会による

JVA MRS「登録規程」においてビーチバレーボール A クラス以上のコーチ、マネージャー・その他登録をしている者。

マッチコートでのウォームアップのサポートは、マッチプロトコル開始（試合開始 10 分前）までとする。それ以降はマッチコートからの退出を求められる。

2028 年度以降の大会からは下記の様に変更する。

◆ヘッドコーチ（監督）1 名

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格（競技別指導者資格コーチ 1～4）を有する者。

JVA MRS 登録規程においてビーチバレーボール S クラスの監督登録をしている者。

マッチコートでのウォームアップ、公式練習、ベンチ入りを認める。

◆その他スタッフ（コーチ、トレーナー等）人数は大会による

JVA MRS 登録規程においてビーチバレーボール A クラス以上のコーチ、マネージャー・その他登録をしている者。

マッチコートでのウォームアップのサポートは、マッチプロトコル開始（試合開始 10 分前）までとする。それ以降はマッチコートからの退出を求められる。

6) チームスタッフ申請

BVT1 では参加チームのコーチ等をチームスタッフとして AD 申請のうえ会場内に入場することを認める。チームスタッフの申請は MRS 内において必ず大会エントリーと同時に行う。期間内であれば MRS 上でのメンバー変更は可能であり、原則大会開催週の月曜日を期限とする。

なお、各チーム原則 3 名（日によって登録を変更することは不可）以内とする。ただし会場仕様などにより人数を制限することもある。

複数のチームに関与するスタッフはそれぞれのチームで申請することを認める。

大会参加選手・スタッフが他チームのスタッフとして活動する場合は、申請不要でありトレーニングコートなどでのみ練習補助をすることを認める。

ただし、マッチコートでの活動は正しく申請したチームスタッフ以外認めない。特設会場の場合にはトレーニングコートの設置がないため活動はできない。

例) A チームと B チームに関与するスタッフ C が A チームのみにスタッフ申請をした場合は A/B チームに対しウォームアップコートでの活動は認めるが、マッチコートでの練習時には A チームのみのスタッフとしてしか活動できない。

※原則、選手テントの利用は選手を優先し、混みあっている場合には利用を控えるようにする。スタッフは性別に沿ったテントを利用すること。性別の異なるテントの利用は禁止とする。

※チームスタッフとして申請する人物に関しては、各チームモラルをもって選定しスタッフは競技会場に相応しい服装で参加すること。

※スタッフの他チームに対する会場内での営業、広報活動などは一切認めない。

7) ヘッドコーチの取り扱い

ベンチ内における活動については、テスト導入として「ヘッドコーチ規程」を別途定める。

8) チーム広報

各チーム1名まで認める。

ただし広報活動（プレス）以外の活動は認めない。申請はJVAウェブサイトの各大会ページにある取材申請から期限内に行う。広報担当者はプレスと同じ動きになる為、選手との動線、行動範囲はチームスタッフとは異なる。

9) 参加費

BVT1への参加費を1チーム/12,000円とする。

今後、変更になる場合には事前に公開通知する。

(2) 参加チームの決定

BVT1の参加チームは各大会のエントリー期限時点でのオフィシャルポイントを使用したエントリーポイントにて参加チームを決定する。予選が実施される大会では本戦推薦チーム、予選参加チームに分かれる。

※ポイント表、エントリー加算大会一覧はJVA、JBVのHPに掲載

※ポイント表は新設の大会などがあつた場合、更新される可能性がある

1) エントリーポイント

◆グランドスラム大会

エントリー締切り時のオフィシャルポイント加算大会（直近52週間前までに出場した大会）のうち、直近4大会で獲得したポイントの大きい順、3大会の合計で計算し、2人の選手ポイントの和とする。

◆オープン大会

エントリー締切り時のオフィシャルポイント加算大会（直近52週間前までに出場した大会）での年間合計で計算し、2人の選手ポイントの和とする。

2) エントリーポイントが同じ場合

◆グランドスラム大会

JVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント（年間）ランキングのチーム合計で上位チームを決定する。それでも同じ場合には個人ランキング最上位の選手で算出する。

◆オープン大会

JVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント（年間）個人ランキングにて上位チームを決定する。それでも同じ場合にはBVT1実行委員会にて厳正なる抽選を行う。

3) 対象になるエントリーポイントが4大会に満たない場合

現状、持ち合わせているポイントをもってエントリーポイントとする。4大会中の2または1もあり得る。

4) 補欠/レイトエントリーチーム

BVT1へのエントリーチームが本戦出場定員よりも多い場合、本戦以下のチームは予選会対象チームとなる。ただし予選を行わない大会では補欠扱いとなる。そしてエントリー期限日を過ぎてエ

ントリーしたチームはレイトエントリーチームとなる。ここでは補欠チームとレイトエントリーの扱いについてのみ説明する。

◆正規（エントリー期限内）にエントリーした補欠チーム

他チームのキャンセルによる繰り上げはエントリー期限時点のエントリーポイントによって行われる。

◆レイトエントリーチーム

他チームのキャンセルによる繰り上げは正規にエントリーしたチームを優先する。

本戦、予選を問わずレイトエントリーチームのシードはシーディング後も最下位の位置となる。

レイトエントリーチームが複数いた場合のシード順はレイトエントリーチーム内でのエントリー先着順とする。

5) 不可抗力（天変地異・感染症など）によって、中止又は延期となった場合の対応

中止の場合はいかなる時点においても、当該大会への参加の権利は消滅する。

延期の場合はエントリー期間を再設定し、再度募集する。但し、30日以内に開催する場合は、参加の権利を継続する場合もある。

その場合シーディングポイントの算出日はBVT1実行委員会によって決定する。

4 シーディング

(1) シーディング

BVT1におけるシーディングの方法は以下の通りとする。

1) シーディング日程

原則として大会開催日の19日前をシーディング日としオフィシャルポイントに基づき確定する。

（土日・祝日が入った場合、後ろ倒しする。大会開催日から見て2週間最初の平日）

2) シーディングポイントについて

◆グランドスラム大会

シーディング日のオフィシャルポイント加算大会（直近52週間前までに出場した大会）のうち、直近4大会で獲得したポイントの大きい順、3大会の合計で計算し2人の選手ポイントの和とする。

◆オープン大会

シーディング日のオフィシャルポイント加算大会（直近52週間前までに出場した大会）での年間合計で計算し2人の選手ポイントの和とする。

3) シーディングポイントが同じ場合

◆グランドスラム大会

JVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント（年間）ランキングのチーム合計で上位チームを決定する。それでも同じ場合には個人ランキング最上位の選手で算出する。

◆オープン大会

JVAビーチバレーボール・オフィシャルポイント（年間）個人ランキングにて上位チームを決定する。それでも同じ場合にはBVT1実行委員会にて厳正なる抽選を行う。

5 選手変更

(1) 選手変更

各大会にエントリーを済ませたチームが選手変更を行う場合必ず選手変更の手続きを行わなければならない。ただし MRS エントリー期間内であればエントリー登録をした本人が MRS 上から手続きを行うことができる。

エントリー締切後の選手変更は BVT1 事務局へのメールと電話、この 2 つをもって受け付ける。原則としてエントリー締切後の選手変更は認めないが怪我や特段の事情がある場合その限りではない。**通常の資格以外に条件を設ける場合には、大会毎の開催要項に記載する。**

1) 条件

変更によってチームに加入する選手は BVT1 参加に必要な S 登録をしている選手に限る。大会参加までに登録が間に合わない場合は BVT1 事務局に連絡をすること。手順を正式に踏めば補欠選手、レイトエントリー選手、未エントリーの選手と選手変更をすることができる。エントリー済のチーム選手は先にキャンセル手続きを行うこと。参加確定チーム同士での選手の組み換えは認めない。ただし、イレギュラーな例として 2 チームの選手において怪我が発生した場合は参加確定チーム同士での選手変更を認めることもある。

2) 手続き

- ・ 怪我の場合は有効な診断書を提出する。
- ・ 特段の事情がある場合には理由書を提出する。

※理由書の場合、人道的観点から BVT1 実行委員会内において判断する。認められない例としてチームの解散や学業、仕事の為などがある。場合によってペナルティの対象となる。

3) エントリーチームの選手変更によるシーディング

◆BVT1 エントリー締切日から大会前日 AM9:00 までに選手変更があった場合
予選本戦問わず選手変更後のチームエントリーポイントにて再度シーディングを行う。
よって、予選本戦内のチームが降格し補欠チームが繰り上がる可能性もある。

◆大会前日 AM9:00 以降に選手変更があった場合

本規程「8 プレリミナリインクワイアリ・テクニカルミーティング (1) 3) 締め切り運用」に記載の通りとし 9:00 以降に選手変更が発生したとしても原則シーディングの組み換えは行わない。ただし、大会運営上やむを得ない場合に限りシーディングを組み直すこともある。

選手変更の最終受付期限は 18:00 までとし、変更選手情報詳細 (名前、所属、MRS 番号、背番号など) を BVT1 事務局に連絡することを必須とする。18:00 以降の申し入れは受け付けない。仮に 18:00 に間に合わなかった場合には当該チームは棄権となる。その際に補欠チームの繰り上げは行わない。

※AM9:00 以前に選手変更の可能性があったものの故意に 9:00 以降の手続きを行ったことが証明された場合そのチームにはペナルティを課すものとする。

4) 本戦、予選、補欠チームの取り扱い

◆本戦確定チーム

選手変更後のエントリーポイントを採用するため、予選に降格することもある。

◆予選確定チーム

選手変更後エントリーポイントが上がった場合、本戦への昇格はないが下がった場合には補欠に降格することもある。

◆補欠チーム

補欠以下（未エントリー含む）同士での選手変更の場合、エントリーポイントが増えても予選に上がることはない。ただしエントリーリスト内の選手と選手変更した場合はポイントによってエントリーリスト内に繰り上がることもある。

6 キャンセル

(1) キャンセル

各大会にエントリーを済ませたチームがそれを取りやめる場合には必ずキャンセルの手続きを行わなければならない。ただし MRS エントリー期間内であればエントリー登録をした本人が MRS 上から手続を行うことができる。

エントリー締切後のキャンセルは BVT1 事務局へのメールと電話、この 2 つをもって受け付ける。原則としてエントリー締切後のキャンセルは認めないが怪我や特段の事情がある場合その限りではない。

1) 手続き

怪我の場合は有効な診断書を提出する。

特段の事情がある場合には理由書を提出する。

理由書の場合、人道的観点から BVT1 実行委員会内において判断する。認められない例としてチームの解散や学業、仕事の為などがある。場合によってペナルティの対象となる。

2) 補欠チームのキャンセル

エントリー締切後に大会運営上必要な補欠チームであると判断された場合、キャンセルは認めない。運営上必要なチームとは規程チーム数+補欠2に、入ったチームのことを指す。

例えば 8 チームの募集であればシード 9、10 のチームが対象となる。ただし補欠チームが 3 チーム以上いる場合シード 9、10 がキャンセルすることは可能となる。

3) 国際大会のダブルエントリーによるキャンセル

ダブルエントリーによるキャンセルは BVT1 の各大会で定められたシーディング日までを期限とし理由書をつけて BVT1 事務局に提出する。この期間内でのキャンセルにペナルティは発生しない。シーディング日以降のキャンセルは原則認めない。

ただし、日本代表活動に関わる事象の場合に限りキャンセルを認めることもある。

4) 参加チームのキャンセル等による繰り上げ

◆BVT1 エントリー締切日から大会前日 AM9：00 までにキャンセルがあった場合

BVT1 にエントリーをしている参加チームの中でエントリー期限時点のエントリーポイントが最も高いチームを繰り上げる。その場合、該当チームへは BVT1 事務局からメールまたは電話にて出場の確認をする。

◆大会前日 AM9：00 以降にキャンセルがあった場合

本規程「8 プレリナリインクワイアリ・テクニカルミーティング（1）3）締め切り運用」に記載の通りとし AM9：00 以降にキャンセルが発生したとしても原則シードの組み換えは行わない。マッチスケジュールに関しては試合時間を繰り上げる可能性がある。ただし、大会運営上やむを得ない場合に限りシードを組み直すこともある。

18：00 以降の繰り上がりは行わない。

7 ワイルドカード

（1）ワイルドカード「以下（WC）という。」

BVT1 には BVT1 実行委員会が定める規程に基づき WC での大会参加を認めるチームがある。WC による参加チーム数の上限は各大会総参加チーム数の 25% とする。

例) 4 分の 1 / 8 分の 2 / 12 分の 3 / 16 分の 4

詳細は大会毎の開催要項に記載する。

併せて SV リーグ WC を設ける。SV リーグ WC が発生した場合、上記の割合に含めないものとする。

1) WC の対象

WC は国籍を問わず誰でも申請を行うことができる。

1 人の選手に対し WC の選出上限はなしとする。

2) WC の推薦権

推薦は、自薦／他薦を問わず、BVT1 実行委員長に対し行うことができる。

申請に対し推薦者がいる場合は、バレーボール関連団体のみでの代表とする。

WC の申請と併せ必ず推薦文を記載するものとし、選手本人からではなく推薦人が BVT1 事務局へ直接連絡を入れるものとする。ただし、事務局担当者などの代理人からの提出は認める。

WC は大会ごとに推薦、申請を行う必要がある。

3) WC の決定権

WC は BVT1 実行委員会が決定する。

原則、大会ホームページにて発表を行い合否は個々に連絡しない。

4) WC の期限

WC の推薦書提出は、該当大会のエントリー締切日までに行わなければならない。

提出先は BVT1 事務局とする。

同時に MRS において大会エントリーを締切日までに完了させておく必要がある。

ただし MRS 登録を行っていない外国人選手などはメールでの大会エントリーを認めるものとする。

5) 外国人チームの出場

出場の設定は、BVT1 実行委員会で行う。

外国人チームまたは外国人選手とペアを組み参加を希望するチームは、入国に対する審査、ビザ取得等を鑑みて事前に合否を伝えることも可能とする。

6) シード

原則の考え方としてシードは折り返しの位置とする。

WC は自らのオフィシャルポイントに左右されず上記の通りとするが抽選の場合はそれに順ずる。WC が適用されない場合もある。

WC は全ての大会において BVT1 実行委員会において決定し、詳細は大会毎の開催要項にて発表する。

7) WC の選手変更

WC は特段の事情が無い限り選手変更は認めない。

WC で出場できなくなった場合には原則大会に参加できずキャンセル扱いとなる。

※イレギュラーが発生した場合、BVT1 事務局へ迅速に連絡をすること

※BVT1 実行委員会において厳正なる審査のうえ最終決定をする。

8) 選考基準

ビーチバレーボール国内最高峰ツアーに参加するに相応しい選手。

強化指定選手、強化候補選手、将来性のある選手、**国内外を問わず**大会を盛り上げるポテンシャルを有した選手、SV・Vリーグチーム、バレーボール日本代表選手、観客動員が見込める選手など。

選考理由は JVA ウェブサイト「観る TOP」のビーチバレーボールページに掲載する。

8 プレリミナリイックワイアリ・テクニカルミーティング

(1) プレリミナリイックワイアリ「以下 (PI) という」・テクニカルミーティング「以下 (TechMtg) という」

1) PI

2026 年シーズンは大会会場で試合当日の受付を PI とする。

受付と同時にユニフォームチェックを行うため個々ではなくチームとして揃った状態で受付を行う。個々での受付は認めない。参加する選手は着用する可能性のあるユニフォームを必ず持参すること。事前 PI を行う場合、大会毎の開催要項に記載をするか選手に対し事前連絡をする。

2) TechMtg

TechMtg を行う場合、要項に記載をするか、選手に対し事前連絡をする。

3) 締め切り運用 (2024 年度から)

大会当日の PI とするが円滑な大会運営を行う為、大会開催前日の AM9:00 をもって全てのシーディング、マッチスケジュールを確定させる。「前日」とは予選、本戦においてそれぞれ別の日を指すものとする。

9 予選

(1) 予選概要

BVT1 は大会に応じて予選を設ける場合がある。予選会の有無、競技方法、抽選については大会毎の開催要項、JVA ウェブサイト等で事前通知を行う。

原則、本戦と同じ競技形式にて開催するが事前もしくは当日に関わらず、やむを得ない事情が発生した場合に限り BVT1 実行委員会は競技形式を変更することがある。

1) 参加チーム

大会によって総出場チーム数は異なる。

2) シード

予選で勝ち上がったチームの本戦シード位置は、シーディングを採用する場合、事前に決定している場合、抽選の場合などがある。

3) 予選終了後の抽選方法（予選開催内容によって異なる）

抽選方法は全て抽選箱・袋を使用して行う。

競技委員長、審判委員長または大会役員立ち合いの元おこなわれる。

4) 競技運営上の補足

予選会はレフェリー、コートオフィシャルなどの配置を削減して行う。

10 全体競技形式

(1) 予選

BVT1 の予選は以下のように行われる。

1) シングルエリミネーショントーナメント(参加チーム数は各大会によって異なる)

本戦参加チームが決定するラウンドにてトーナメントを終了場合がある。

2) プール戦（各大会によって内容は異なる）

◆12 チームによる 3 チーム×4 プールのプール戦方式

各試合で勝利したチームには勝点 2 を与える。そして各試合に負けたチームには勝点 1 を与え、勝点の多いチームを上位とする。ただし、棄権により試合が行われなかった場合、勝利したチームには勝点 2 を与えるが、棄権したチームは勝点 0 とする。ただし、全ての継続できない、もしくは開始されない試合は、大会実行委員会によって「①失格 (DSQ)」もしくは「②負傷による失格 (INJ/DSQ)」と評価され、②の場合は棄権したチームも勝点 1 を得るとともに、棄権するまでのセット、得点を保持することができる。

例えば、あるチームが第 1 セットを 21-19 で勝ち、負傷して棄権した時が第 2 セットの 4-6 だとすれば、このチームは勝点 1、セットカウントは 1-2、ポイントは 21-19、4-21、0-15 とし、「負傷による失格 (INJ/DSQ)」と加筆される。この例で勝利したチームは勝点 2 を得るとともにセットカウントは 2-1、ポイントは 19-21、21-4、15-0 となる。

試合が開始される前に「負傷による失格 (INJ/DSQ)」が発生した場合、棄権したチームは勝点 1、セットカウント 0-2、ポイントは 0-21、0-21 となり、勝利したチームは勝点 2、セットカウント 2-0、ポイントは 0-0、0-0 となる。

もし有効な理由が無く試合を棄権した場合は没収試合とし、勝点 0 で 0-2 (0-21、0-21) で「失格 (DSQ)」と記入する。この試合に勝利したチームは勝点 2 で 2-0 (0-0、0-0) となる。

→プール戦の途中で勝点が並んでいるチームは下記のとおり順位を決定する。

a) 2 チームが勝点で並ぶ場合

- ・ もし両チームが対戦している場合、対戦に勝利しているチームを上位とする。
- ・ もし両チームが対戦していない場合、全ての対戦における得点率の高いチームを上位とする。
- ・ 得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。

b) 3 チームが勝点で並ぶ場合

- ・ 該当する 3 チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
- ・ 得点率も並ぶ場合は同じ順位とする。

→プール戦の全試合が終了した時は下記のとおり順位を決定する。

c) 2 チームが勝点で並ぶ場合

- ・ 両チームの対戦で勝利しているチームを上位とする。

d) 3 チームが勝点で並ぶ場合

- ・ 該当する 3 チーム同士の対戦での得点率の高いチームを上位とする。
- ・ 得点率が並ぶ場合は、本戦のシーディング順に上位とする。

→決勝トーナメント（準々決勝～決勝）

決勝トーナメントは各プール上位 1～2 チーム（計 4～8 チーム）によるシングルエリミネーショントーナメントを行う。

→シード 1～8 の決定方法

- プール A 1 位はシード 1 へ
- プール B 1 位はシード 2 へ
- プール C 1 位はシード 3 へ
- プール D 1 位はシード 4 へ

各プール 2 位のシードは抽選により決定する。（抽選方法）※全て抽選棒を使用する。

- 予備抽選により引く順番を決める。
- 同じプールのチーム同士の対戦とならないようにシード 8→7→6→5 の順に抽選を行う。
- シード 8 を決定する場合、予選プール A のチームを除き予備抽選で決定した順番で抽選棒を引き、「8」と記載された抽選棒を引いたチームをシード 8 とする。

予選の上位チームが本戦への参加権を得る。本戦参加チームのキャンセル等によるチームの繰り上げ、ラッキールーザーの取り扱いは「5 選手変更」に定める通りとする。

◆16 チームによる 4 チーム×4 プールの方式

総当たり戦ではなく 4 チームでの勝ち上がりトーナメントを行う。

A と B が対戦し A が勝利、C と D が対戦し C が勝利した場合、A と C が勝者トーナメントとして対戦しプール 1 位、2 位を決定する。

C と D は敗者トーナメントとして対戦し 3 位 4 位と決定する。

プール 1 位はシングルトーナメントの 1～4 シードに入る。

- プール A 1 位はシード 1 へ
- プール B 1 位はシード 2 へ
- プール C 1 位はシード 3 へ
- プール D 1 位はシード 4 へ

各プール 2 位のシードは抽選により決定する。（抽選方法）※全て抽選棒を使用する。

- 予備抽選により引く順番を決める。

- b) 同じプールのチーム同士の対戦とならないようにシード 8→7→6→5 の順に抽選を行う。
 c) シード 8 を決定する場合、予選プールAのチームを除き予備抽選で決定した順番で抽選棒を引き、「8」と記載された抽選棒を引いたチームをシード 8 とする。

各プール 3 位のシードは抽選により決定する。(抽選方法) ※全て抽選棒を使用する。

- a) 同じプールのチーム同士の対戦とならないように、シード 12→11→10→9 の順に抽選を行う。
 b) シード 12 を決定する場合、シード 1 とシード 8 に入ったチームと同組にならないように抽選を行う。

シード 1 にプールA1 位、シード 8 にプールB2 位が入った場合はプールC、Dの 3 位がシード 12 に入る。

(2) 本戦

BVT1 の本戦は以下のように行われる。

1) シングルエリミネーショントーナメント(参加チーム数は各大会によって異なる)

3 位決定戦は各大会によって異なる為、各大会要項にて通知する。

(3) 試合順

予選本戦ともに開催期間、コート数、主催者、スポンサー、テレビ放送の事情により通常のシード順と異なる形式で進められることがある。特にコアタイムにおいて好カードと判断された試合を優先的に設定する可能性がある。

11 競技全般

(1) 競技細則

1) 男女共催

BVT1 は男女共催で行われる。

2) 試合形式

BVT1 は全ての試合が原則として 21 点制 3 セットマッチ・3 セット目は 15 点制／ノーキャップ方式(打ち切りなし)で行われる。

3) Crown of the beach 方式

試合は 1 コートに最大 5 チームが集まり、Round 1～Round 3 までを 1 試合として行う。1 Round を 15 分の時間制とするが大会の規模等により Round 時間は変動するものとする。その Round でのポイント獲得順位に基づき次の Round へ進出する。よって、グループステージにおいて Round 1～Round 3 を消化させ、セミファイナルにおいて Round 1～Round 3 を消化させ、ファイナルにおいても Round 1～Round 3 が発生するという意味になる。ファイナル Round において最もポイントを獲得したチームが Crown (王) となる。Crown of the beach 方式は様々なアレンジができる為、詳細は各大会要項にて通知する。

4) 試合の中断

日没サスペンデッド、雷雨、荒天などで試合が中断した場合、大会実行委員会にてその再開を協議する。翌日に試合が持ち越される場合、すでに進行中だった試合内容を継続させるかリセットさせるかは競技の進行状況によって大会実行委員会が決定する。

5) 大会の延期／中止

天変地異または天災災害人災、緊急事態宣言を含む事象が発生した場合、大会を延期または中止することがある。その判断は BVT1 実行委員会において決定する。

6) 競技形式の変更

事前もしくは当日に関わらず、やむを得ない事情が発生した場合に限り大会実行委員会は競技形式を変更することがある。

7) コーチング

ヘッドコーチ規定を除き コーチ又はチーム関係者が試合中にコーチングを行うことは出来ない。

コーチングの疑いがある場合には、大会実行委員会に通告される。

コーチングがあったと判断された場合、大会実行委員会より当該コーチ・チーム関係者に会場内からの退場を命じることがある。

8) 大会の棄権

本大会は JVA/JBV 主催大会として国内競技委員会の趣旨に合わせ、原則「試合の棄権」は「大会の放棄」とみなし、同大会でのそれ以降のプレーを認めない。ただし大会実行委員会がやむを得ない（1 試合目に MTO、RIT など）と判断した場合はこの限りではない。

9) ポイント

BVT1 に参加したチームにはオフィシャルポイントが与えられる。

10) 試合球

ミカサとモルテンを使用する。

(2) 競技の棄権

1) レフェリーストップ（大会実行委員会）

BVT1 において大会実行委員会（医療従事者を含む）は選手の健康状態を管理する。選手に生命の危機または後遺症が残るような状況が発生したと判断した場合、大会実行委員会の判断によってチームを棄権させる権利をもつ。棄権にあたり選手本人には競技中であつたとしても段階的にヒアリングを行う。仮に選手本人が競技続行の意思を持っていたとしても大会実行委員会の判断を優先する。その場合、監督、コーチ、保護者等には事前に説明を行う。

2) 判断の基準

原則として大会実行委員会の目視による判断とし、下記を用いる。

- ①サーブまでのラリー間 12 秒ルールが守れない
- ②コートスイッチの移動時間が著しく遅い
- ③メディカルアシスタンスプロトコル（出血による負傷、重度の負傷、熱中症など）適用後、改善がみられない

- ④身体状態が第三者から見て不自然（極度の跛行、倒れこむ、嘔吐、血色など）
- ⑤場合によってはバイタルチェックなどを用いる

（3）ユニフォーム

BVT1 はユニフォーム規程「BVT1 Uniform Regulation2026」を遵守して行われる。大会参加チームはユニフォーム規程に適合したユニフォームを自分たちで用意しなければならない。ユニフォームのルールに関して詳細な基準は、JVA 競技委員会、JVA 審判規則委員会、JVA マーケティング戦略部並びに BVT1 実行委員会の判断によって行われる。

1) ユニフォームチェック

着用するアイテムを PI 時に持参する。PI を実施しない場合マッチプロトコル時レフェリーによって行われることもある。

ユニフォームチェック時に違反があると判断された場合、試合開始までに適正なユニフォームを用意しなければならない。仮に変更ができない場合は没収試合となる可能性もある。

各チーム、濃淡 2 色のユニフォームを最低 2 枚用意すること。

2) スポンサー

各自のスポンサーと、JVA、大会プロモーター、あるいは開催地協力、後援業者間の問題は各自が解決しなければならない。露出が制限されるスポンサーが発生した場合、BVT1 実行委員会と選手間において協議する。

3) 大会主催者によるトップス・腕章の支給

大会主催者よりトップス・腕章が支給された場合、参加選手は必ずそれを着用して試合をしなければならない。

（4）試合中の負傷に関する対応

1) メディカルアシスタンスプロトコル

試合中の負傷については、メディカルアシスタンスプロトコルを適用することとし、正規の試合中断中（タイムアウト（以下「TO」という。）、または、テクニカルタイムアウト（以下「TTO」という。）か、セット間）や、その他の試合中断中に加えて、試合を遅延することなく選手に医療支援を受ける権利を与える。

メディカルアシスタンスプロトコルは以下の種類で、治療は最大 5 分間とする。

- ①出血を伴う負傷の場合、メディカルタイムアウト（以下「MTO」という。）を事象毎に適用する。
- ②下記の場合、リカバリーインターラプションタイムアウト（以下「RIT」という。）を適用する。

◆各選手 1 試合中、下記のいずれかを 1 回のみ許可される

- ・出血を伴わない重度の負傷/病気（外傷性負傷・非外傷性負傷・非接触負傷を含む）
- ・過酷な気象条件に関連する病気（極端な暑さなどの厳しい気象条件が公式に宣言されている場合にのみ適用）
- ・トイレの使用

RIT は TO がある場合、メディカルアシスタンスプロトコルの適用前に必ず TO を使用しなければならない。但し、TTO やセット間内に治療が完了せず RIT を適用する場合に限り TO を使用しな

くても良い。

RIT を使用した選手は、試合終了後に試合のレフェリーから BVB-49 用紙を受け取り、記入・サインのうえ審判委員長に提出すること。

2) 負傷/病気の選手が医療支援を受ける場合

大会公式医療スタッフ、又は公式に承認されたチームの医療スタッフどちらかを選択する権利を持つ。医療スタッフの医療支援無しにメディカルアシスタンスプロトコルは許可されない。負傷した選手が大会公式医療スタッフを選択した場合、医療スタッフがコートに到着後からプロトコルの計時が開始される。公式の医療スタッフがない場合、又は選手が公式に許可されたチームの医療スタッフを選択した場合は、医療スタッフの到着を待つことなく、すぐにプロトコルの計時が開始される。

(5) ボールマークプロトコル (BMP)

- ・チームはボール「イン/アウト」に関して、ラリー終了時に BMP の実施を要求する権利がある。
- ・両チームのどの選手も要求することができるが、選手は指で「C」の文字を示して BMP を要求しなければならない。レフェリーが要求を確認したら、続いて「ラインを指す」シグナルをファーストレフェリーに示す。選手は競技エリアのどの位置からでも要求することができる。
- ・選手はラリー終了後 5 秒以内に BMP を要求しなければならない。明らかに要求が遅い場合（ポジションに着いた後やサングラスのワイピング等を行った後等）やコートスイッチ後は BMP を要求することはできない。この場合、ファーストレフェリーは片方の手でもう片方の手首を押さえる「レイト BMP」のハンドシグナルを示す。
- ・ファーストレフェリーが、ボールが接地する前にラインに触れたことを目視した場合、BMP の要求は「不当な BMP の要求」とみなされ許可されない。この場合、レフェリーは指で「X」のシグナルを示す。
- ・チームは、同じ中断中に 2 回目の要求を行なうことはできない。
- ・チームは、1 セットあたり最大 2 回不成功となるまで BMP の権利が与えられる。セット内にチームの 2 回目の BMP が不成功になった場合、そのチームはそのセットにそれ以上 BMP を要求できない。
- ・チームは BMP の要求後、手順が開始される前、または手順の極めて初期の段階に BMP をキャンセルできるが試合の遅延となる場合やキャンセルを繰り返した場合、遅延の罰則が適用される。
- ・BMP の実施中、選手はベンチに戻ったり、水分補給をしたりすることはできない。
- ・選手が故意にボールマークを隠したり消したりした場合には、不法な行為として罰則が適用される。
- ・ファーストレフェリーが示した BMP の検証結果は最終であり、意義を唱えることはできない。

12 競技方法

BVT1 は下記いずれかの形式を用いて大会を開催する。

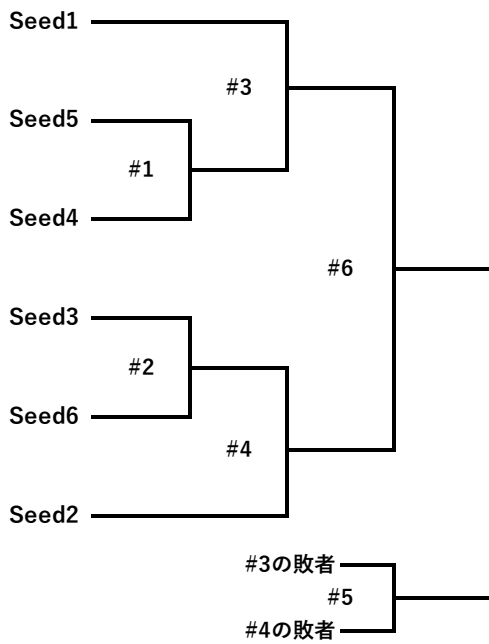
ただし開催日数、試合コート数によっては下記に記載のない競技形式を採用する可能性もある。
 その場合、各大会要項で参加者へ通知する。

※3位決定戦は各大会によって有無が分かれる

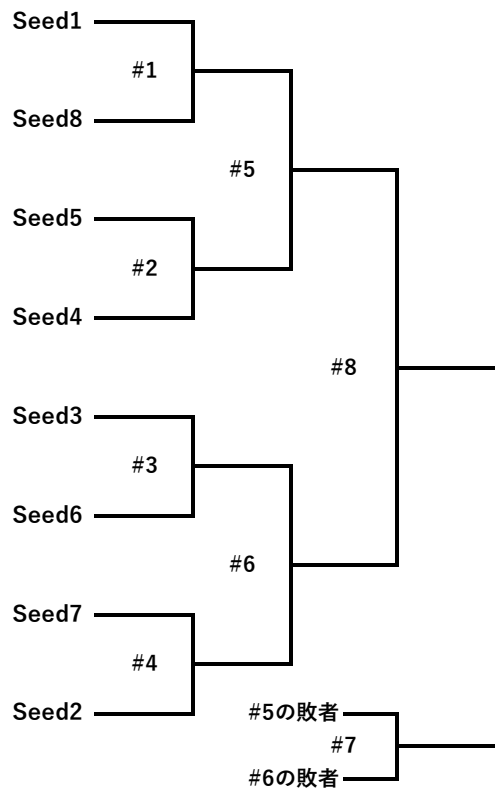
※「#」に関しては試合順ではない

(1) 各種フォーマット

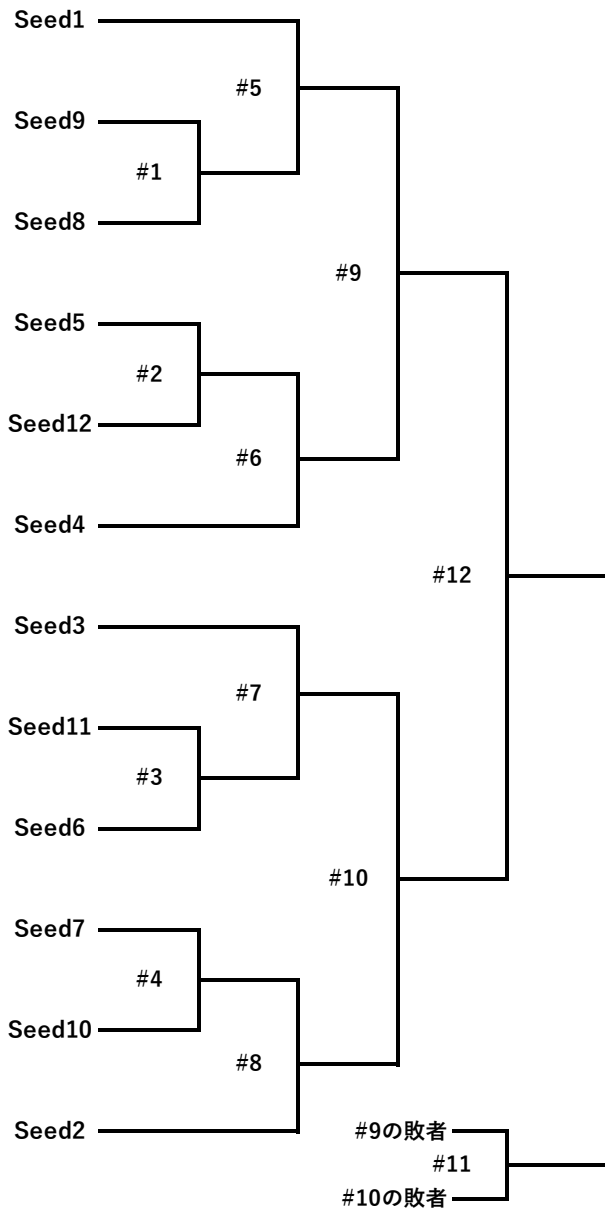
6チームシングルエリミネーショントーナメント



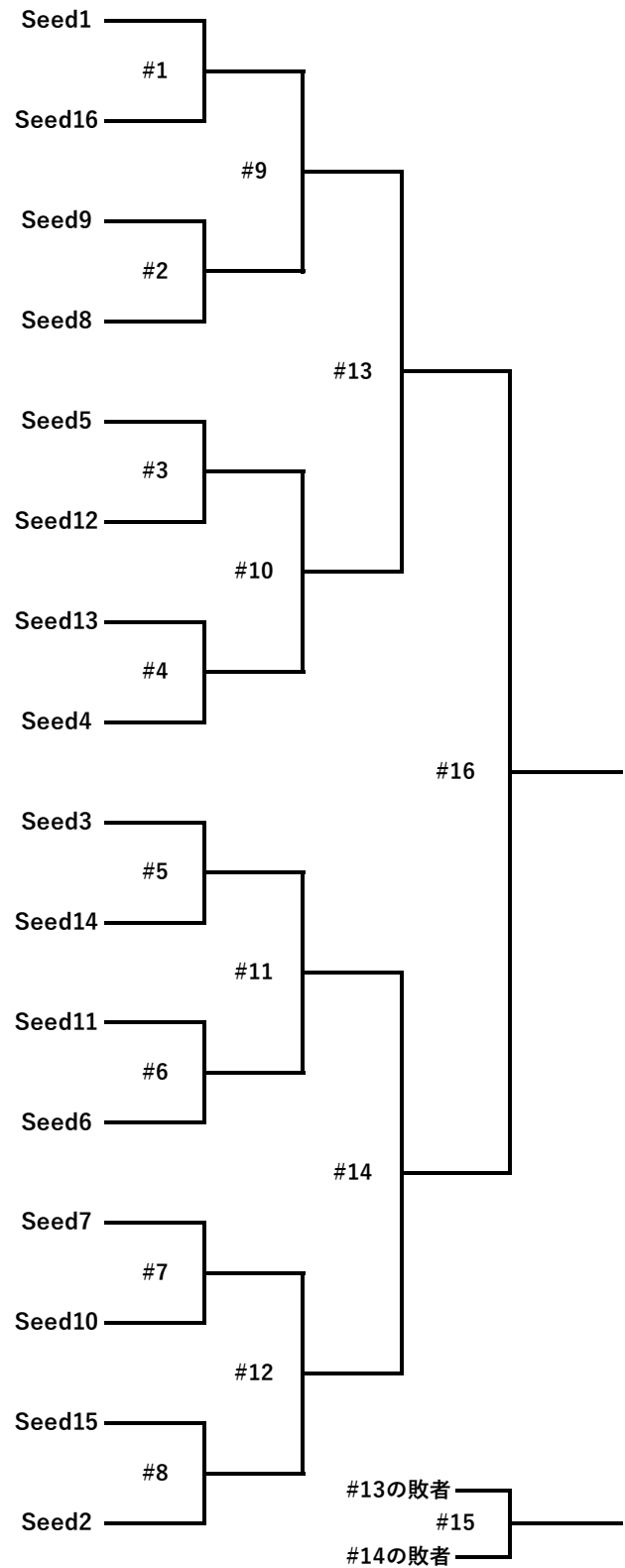
8チームシングルエリミネーショントーナメント



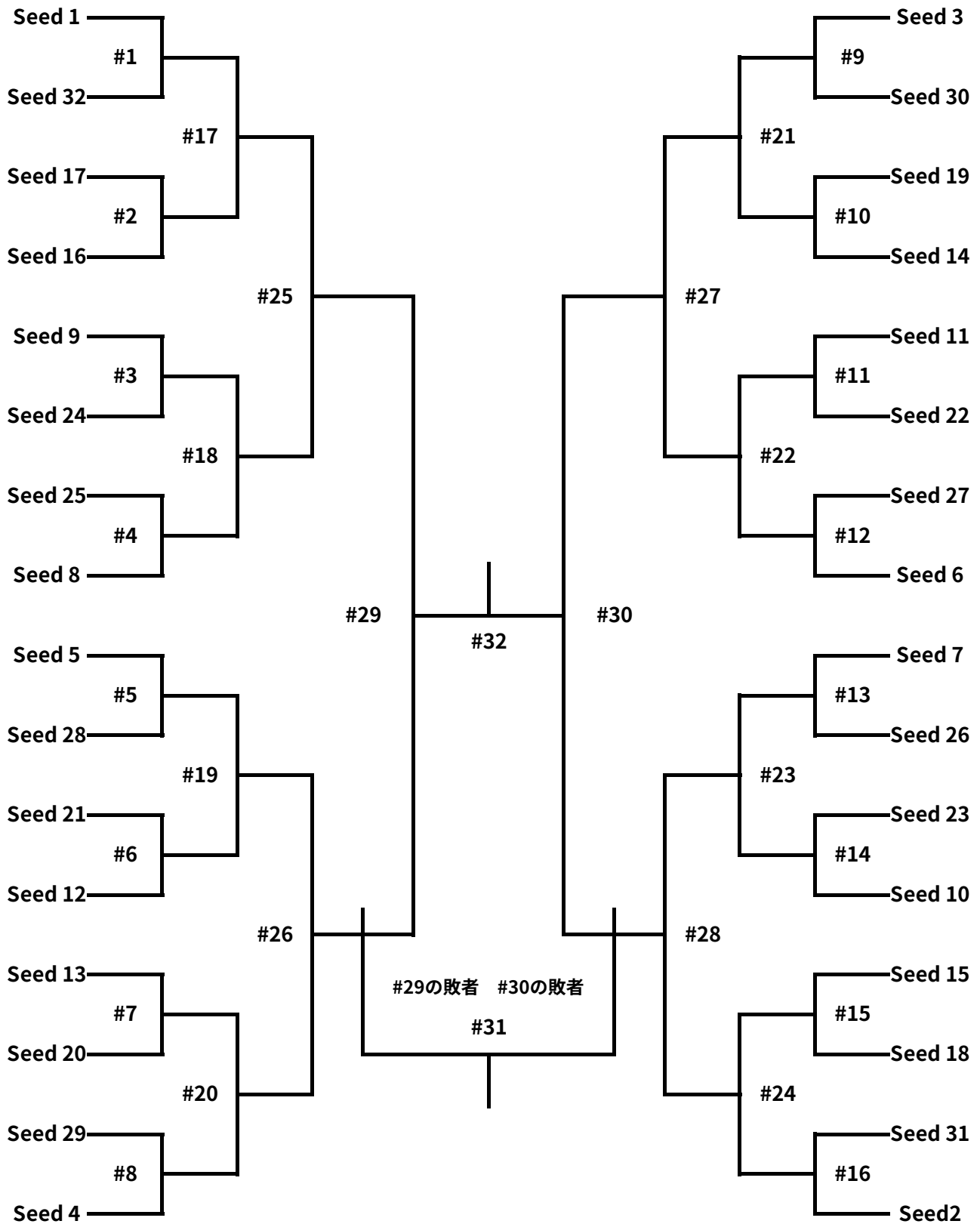
12チームシングルエリミネーショントーナメント



16チームシングルエリミネーショントーナメント

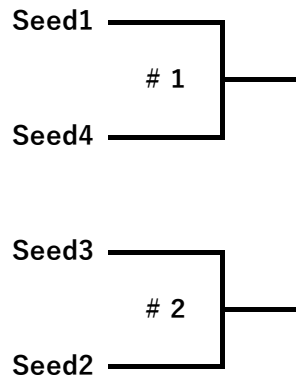


32チームシングルエリミネーショントーナメント



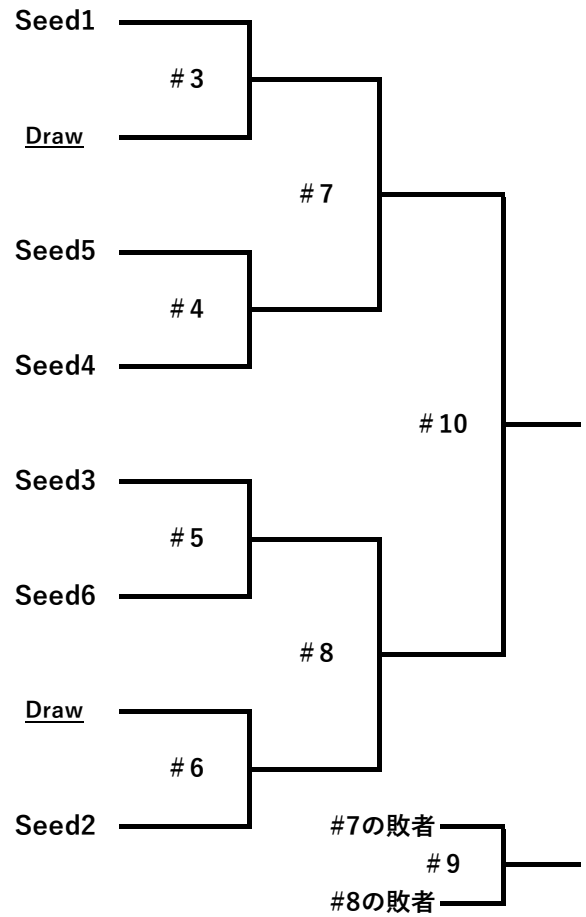
予選

4 チームシングルエリミネーショントーナメント



本戦

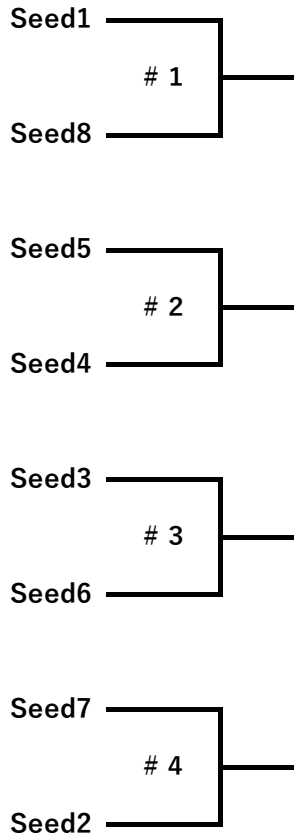
8 チームシングルエリミネーショントーナメント



※ドローを行わない場合もある。

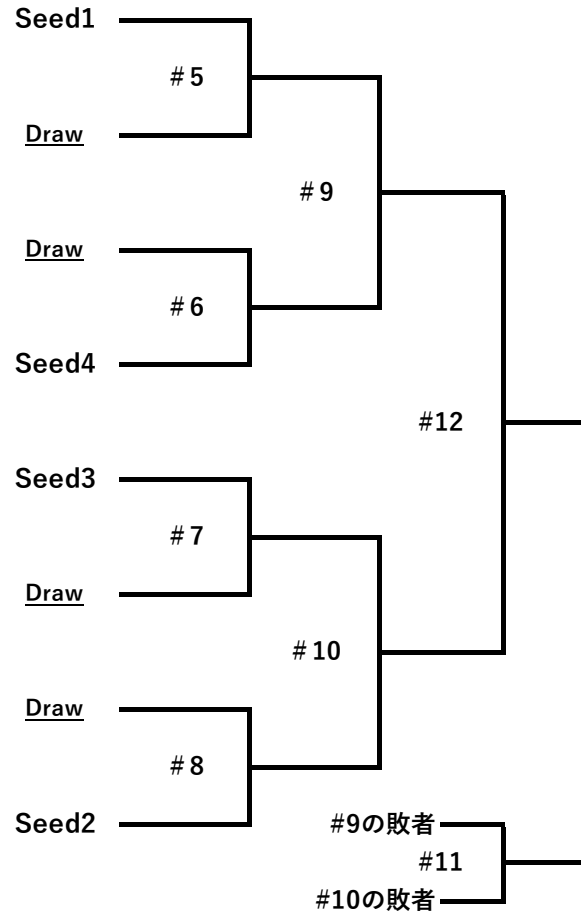
予選

8チームシングルエリミネーショントーナメント



本戦

8チームシングルエリミネーショントーナメント



※ドローを行わない場合もある。

12チーム予選 (A)

Pool A	Pool B	Pool C	Pool D
Seed1	Seed2	Seed3	Seed4
Seed8	Seed7	Seed6	Seed5
Seed9	Seed10	Seed11	Seed12

*Seed9~12は抽選とする場合もある

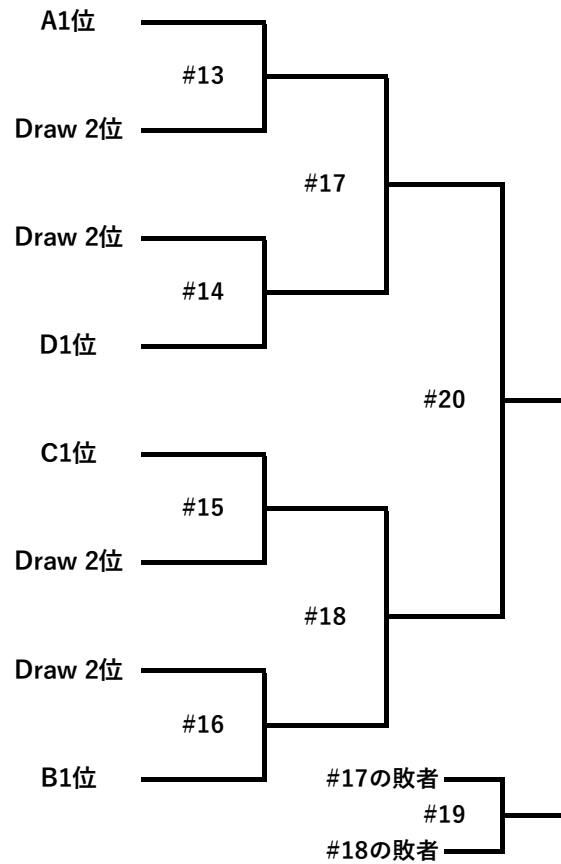
Pool A			
	Seed1	Seed8	Seed9
Seed1		#3	#1
Seed8	#3		#2
Seed9	#1	#2	

Pool B			
	Seed2	Seed7	Seed10
Seed2		#6	#4
Seed7	#6		#5
Seed10	#4	#5	

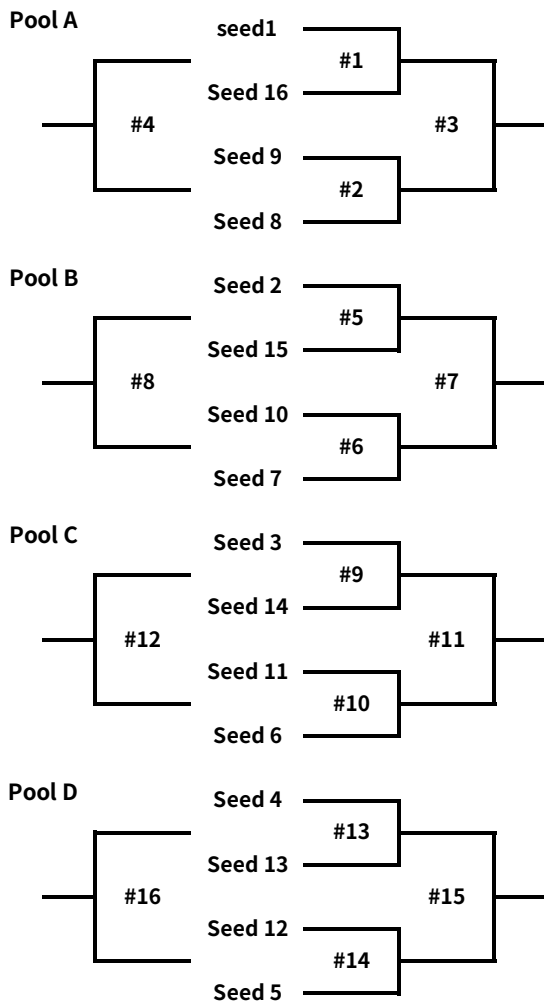
Pool C			
	Seed3	Seed6	Seed11
Seed3		#9	#7
Seed6	#9		#8
Seed11	#7	#8	

Pool D			
	Seed4	Seed5	Seed12
Seed4		#12	#10
Seed5	#12		#11
Seed12	#10	#11	

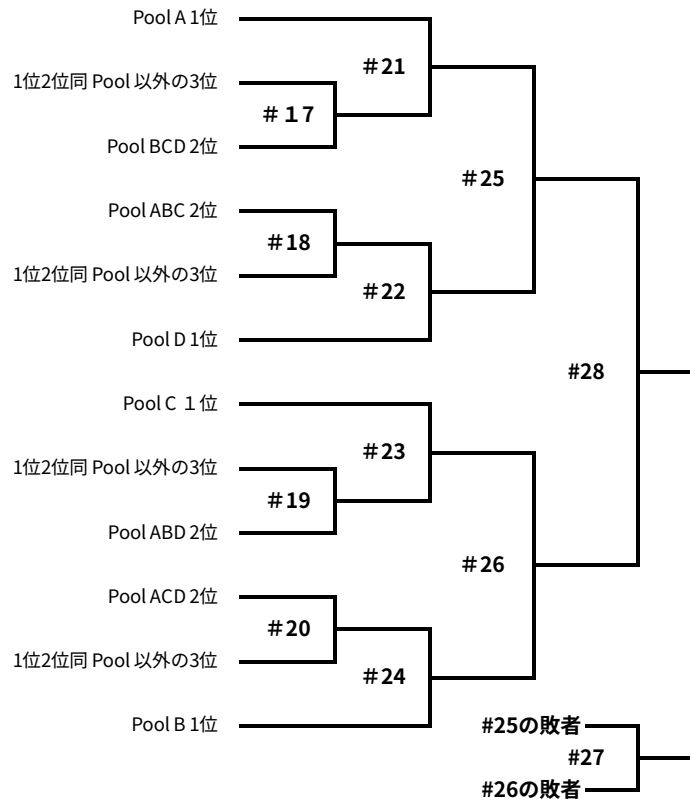
8チームシングルエリミネーショントーナメント



16チーム予選



12チームシングルエリミネーショントーナメント



Crown of the beach 方式の一例
 詳細な規程は大会ごとに公開する。

Day1

Group Stage Pool A					
Round1		Round2		Round3	
13分		11分		8分	
10点		9点		7点	
Rank1	→ Semi-final	Rank1	→ Semi-final	Rank1	→ Semi-final
Rank2	→ Round2	Rank2	→ Round3	Rank2	→ Play-off2
Rank3	→ Round2	Rank3	→ Round3	Rank3	→ Play-off1
Rank4	→ Round2	Rank4	→ Round3		
Rank5	→ Round2				

Group Stage Pool B					
Round1		Round2		Round3	
13分		11分		8分	
10点		9点		7点	
Rank1	→ Semi-final	Rank1	→ Semi-final	Rank1	→ Semi-final
Rank2	→ Round2	Rank2	→ Round3	Rank2	→ Play-off2
Rank3	→ Round2	Rank3	→ Round3	Rank3	→ Play-off1
Rank4	→ Round2	Rank4	→ Round3		
Rank5	→ Round2				

Group Stage Pool C					
Round1		Round2		Round3	
13分		11分		8分	
10点		9点		7点	
Rank1	→ Semi-final	Rank1	→ Semi-final	Rank1	→ Semi-final
Rank2	→ Round2	Rank2	→ Round3	Rank2	→ Play-off2
Rank3	→ Round2	Rank3	→ Round3	Rank3	→ Play-off1
Rank4	→ Round2	Rank4	→ Round3		
Rank5	→ Round2				

Play off 1	
Round	
7分	
6点	
Rank1	→ Play-off2
Rank2	→ 14th
Rank3	→ 15th

→

Play off 2	
Round	
10分	
8点	
Rank1	→ Semi-final
Rank2	→ 11th
Rank3	→ 12th
Rank4	→ 13th

Day2

Semi-Final A					
Round1		Round2		Round3	
13分		11分		8分	
10点		9点		7点	
Rank1	→ Round2	Rank1	→ Round3	Rank1	→ Final
Rank2	→ Round2	Rank2	→ Round3	Rank2	→ Play-off 3
Rank3	→ Round2	Rank3	→ Round3	Rank3	→ Play-off 3
Rank4	→ Round2	Rank4	→ 7th		
Rank5	→ 9th				

Semi-Final B					
Round1		Round2		Round3	
13分		11分		8分	
10点		9点		7点	
Rank1	→ Round2	Rank1	→ Round3	Rank1	→ Final
Rank2	→ Round2	Rank2	→ Round3	Rank2	→ Play-off 3
Rank3	→ Round2	Rank3	→ Round3	Rank3	→ Play-off 3
Rank4	→ Round2	Rank4	→ 7th		
Rank5	→ 9th				

Play-off 3	
Round	
10分	
8点	
Rank1	→ Final
Rank2	→ Final
Rank3	→ 5th
Rank4	→ 6th

→

Final			
Round1		Round2	
11分		8分	
9点		7点	
Rank1	→ Round2	Rank1	→ Crown
Rank2	→ Round2	Rank2	→ 2nd
Rank3	→ Round2	Rank3	→ 3rd
Rank4	→ 4th		

13 コンプライアンス規程

大会出場選手（大会関係者全てを含む）は、スポーツパーソン、スポーツ関係者として品位と名誉を重んじつつ、フェアプレーの精神に基づいて他の模範となるよう行動し、ビーチバレーボールの健全な普及・発展に努めなければならない。

法令違反行為に該当、もしくは該当する恐れがあるものについては JVA コンプライアンス規程に基づき対処する。また、必要に応じて関係者へのヒアリングや第三者委員会の設置などを行う。

最悪の場合、大会期間中または競技中であつたとしても大会出場資格を剥奪する。

（1）事象の一例

- ・ 暴言及び暴力、または他者を侮辱する行為等
- ・ 競技を妨げる過度な遅延行為
- ・ 迷惑行為

（2）BVT1 におけるペナルティの内容

- ・ 同大会で獲得したポイント、賞金を無効とする。
- ・ 該当試合以降 JVA 主催大会への出場を許可しない。大会数期間については事象により異なる。
- ・ ここに記載の無い問題が発生した場合はジャパンツアー実行委員会、BVT1 実行委員会、大会実行委員会で厳正に協議し決定する。

14 その他大会に関わる重要事項

（1）公式行事

大会に参加する全ての選手は大会運営上必要な公式行事には必ず協力または参加しなければならない。行事の有無は事前に通知するが当日の依頼に対しても可能な限り選手は対応するものとする。ただし、選手にやむを得ない事情が生じた場合、大会実行委員会は行事への不参加を認める。その場合、公式行事の開始前までに大会実行委員会に事態を連絡しなければならない。理由なく大会運営に対し非協力的なことが起きた場合「13 コンプライアンス規程」にあるペナルティを行使する可能性がある。

1) 行事内容

記者会見、表敬訪問、レセプションパーティー、併催イベント、表彰式、開閉会式、囲み取材、始球式、エスコートキッズ、体験スクール、アンケートなど。

2) 配信内解説

配信を行う大会に応じて準決勝で敗退したチームから男女各2名ずつが決勝戦での解説を行う可能性がある。

（2）表彰式

1) 賞金

BVT1 に参加した選手には各大会要項で定められた賞金が支払われる。
グラウンドスラム大会とオープン大会によって金額は異なる。

2) 優勝トロフィー／賞金ボード

BVT1 で授与される贈呈品は持ち回り品の為、表彰式後に返却すること。

3) 副賞

開催地によっては副賞の贈呈がある。

4) 服装

チームジャージ、または同形同色のものが望ましい。ユニフォームで参加を希望する選手はビキニタイプで無いものを着用すること。パレオを巻いての参加は不可とする。

(3) ビデオ／配信

1) チームビデオ

ビデオ撮影を希望する場合は、会場受付時に申請（タブレット・携帯を含む）を行う。

申請者には識別用のリストバンド等を配布するものとし、ビデオカメラ本体および三脚等に、識別物を外から見える位置に掲出すること。

撮影者は他チームやスペースを考慮し、撮影エリアに留まらないようにすること。

カメラエリアは大会側で事前に指定する。TV 局、配信業者の機材エリアやゲスト、VIP エリア前などに無断で三脚等を設置することは禁止とする。

2) 配信

大会主催者による公式配信（JVA 配信）が実施されているコートでは、個人による Live 配信は禁止とする。

ただし、公式配信の実施がない大会（予選、セカンドコートなど）では、選手またはチームスタッフによる SNS 等での配信を可能とする。

ただしコート以外の映り込みがないように配慮すること。

3) 写真・動画について

ここに記載のないものは「写真・動画撮影および肖像に関する取り扱い規定」を別途定める。

(4) 入れ墨・タトゥー

入れ墨・タトゥーの露出は制限しない。

ただし、開催地の迷惑防止条例により制限をされることがある場合はテーピングやコンシーラーなどの対応で出場を許可することができる。

(5) その他

1) 併催大会

BVT1 は他イベント、または国内代表決定戦やプロツアー等との併催大会を行うこともある。

その場合、主催者同士の協議によって定められた規程をもとに大会を開催する。

2) 国際大会との調整

国際大会の数が増えたため BVT1 の日程を国際大会と調整するのは難しく、どの大会に参加するかは選手の選択とする。

3) 敗退後の取り扱い

敗退チームに来場制限は設けない。ただし感染症問題の発生時や、運営の状況によって敗退後の来場を不可とする場合もある。

15 感染症対策

(1) 基本方針

1) 2026年度対応

- ・政府発表に基づき内容は適宜見直す。
- ・健康観察は引き続き個人において行い感染予防策を講じる。
- ・マスクの着用は個人の判断とする。
- ・健康チェックシートの提出は不要とする。
- ・検温が必要な場合はセルフチェックとする。

2) 検査について

- ・2026年シーズンは検査を行わない。ただし、緊急事態宣言などが発令された場合には検査を行うこともある。

3) 陽性者への対応

- ・陽性判定を受けた選手又はスタッフは国の定める期間を自宅療養期間とし回復に努める。
- ・競技復帰の為にPCR検査（陰性証明）または抗原検査（キットの写真）の結果提出などは求めないが体調に少しでも懸念がある場合には活動を自粛するものとする。

4) 大会期間中に陽性者が確認された場合

- ・大会実行委員会は大会の継続を協議する。状況に応じて大会規模の縮小、競技内容の変更、または中止となる場合がある。

5) 試合期間の行動

- ・制限は特に設けない。個人において感染症対策を行う。

本規程は平成28年6月1日から実施する。

本規程の変更はJVA、JBV並びにジャパンツアー実行委員会、BVT1実行委員会の議決によって行うことができる。

また、本規程に明示されていない不測事項はJVA発行の2026年度版ビーチバレーボール競技規則に則りJVA、JBV並びにBVT1実行委員会で協議、判断し施行するものとする。

附則

平成28年6月1日

平成28年9月1日

平成29年3月1日

平成29年4月11日

平成30年3月1日

平成31年4月24日

令和3年4月14日

令和4年4月1日

令和4年7月17日

令和5年4月25日

令和6年4月3日

令和7年3月5日

令和8年4月1日 改定